



うさぎぐみだより

2023年度 1月号

尚徳福祉会生麦保育園



新年あけましておめでとうございます。

お休み前にお正月を楽しみにしていた子どもたち。

みんなのお正月の思い出話を聞くのがとても楽しみです

です♪今年も子どもたちが楽しく笑顔で様々なこと

を経験できるようにしていきたいと

思います。進級まで残り3ヶ月!

よろしく願いいたします。



進級に向けて…

おたのしみ会を経験し、クラスとして4月からの成長を感じています。進級したころは何事も「せんせい」と保育士に対しての関わりが多かった子どもたちも、友だちの存在がさらに強く感じられるようになったのか、友だちに対しての言葉掛けや関わりがたくさん見られるようになりました。そのなかでも担任が癒されたのは、友だち同士が泣いていたり困っていたりした時に「どうしたの?」「何がイヤだったの?」と友だちの気持ちに寄り添おうとする姿です。また戸外遊びの時に上着のファスナーが上手にかみ合わず、困っている子を見ると、先に支度が出来た子から友だちのファスナーを手伝ってくれる子もいます。。!!手伝わってもらった子も、友だちにやってもらおうと「〇〇ちゃんがやってくれたよ」「優しくしてくれたよ」と嬉しそうな表情で担任に報告をしてくれます。

たくさんの行事や、日々の子どもの関わりが積み重なり、今の子どもたちの関係があるのだと感じることが増えてきました。食事時間や月曜日のシーツの取り付け、玄関対応など環境的な成長ももちろんですが、友だちや保育士など周りの人との関わり方なども進級に向けた保育を取り入れていきたいと思っています。保護者の方も「成長」を感じるエピソードがあったらぜひ教えてくださいね♪



嬉しい言葉でおはなししよう☆彡

乳児クラスの時から言葉のやりとりが可愛らしいうさぎ組の子どもたちでしたが、最近は大人の口調を真似したり流行りの言葉を話したり。。子どもたちはまだまだ知らない言葉が多く、絵本を読んでいる時や話している時に「どんな言葉?」と興味を示す子もいます。友だちとの関わりでもクスッと笑ってしまう会話が多いのですが、中には「なんで〇〇ちゃんはやれないの」「出来なくちゃダメだよ」「また〇〇くん泣いてる」など素直な気持ちが言葉に表れてしまうこともあります。成長の過程なのでそのような姿も理解した上で、保育者が気持ちを代弁し、違う言葉に言い換えて伝える事を知らせたり、言われて嬉しい言葉を一緒に探したりしています。「できなくても大丈夫だよ」「ゆっくりでいいからね」「手伝おうか?」など、少しずつ「嬉しい言葉」をみんなで増やしています。毎日忙しいと思いますが、ぜひご家庭でも「嬉しい言葉」をお子さんと共有してみてください。

おしらせ

- ★今月から、進級に向けて給食を食べ始める時間が15分遅くなります。(11:45~)
- ★ご家庭でお箸を使って食事をしているお友達から順番に園でも箸を使い始めていきたいと思っております。全員が一斉に始めるのではなく、無理のない範囲で始めていく予定です。
- ★今月から進級に向けた保育や遊びなどを取り入れていく予定です。

